



社会基盤デザインコースの研究紹介
建設材料学分野

仕事の紹介

コンクリート構造物に関する研究の一例

人々を自然災害から守り、快適な暮らしに貢献するコンクリート構造物



津波・波浪・高波から守る
(堤防・消波ブロック)



地滑り・斜面崩壊から守る
(擁壁)



生活に必要な水の確保
および洪水などから守る
(ダム)



島々の人、モノを安心・安全に繋ぐ
(離島架橋)

<コンクリート構造物の病気・高齢化>



コンクリートのひび割れ



コンクリート中の鉄筋破断

課題抽出

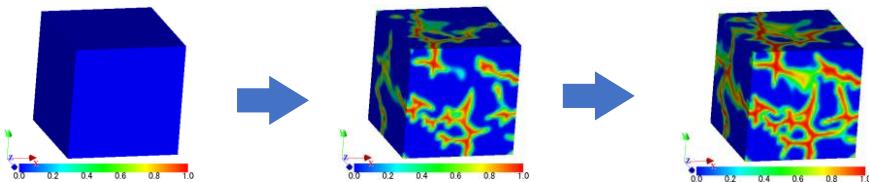
<病気の予防・治療のための研究開発>



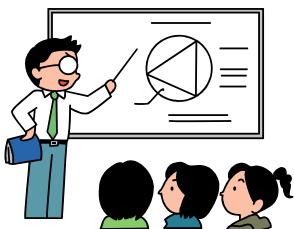
現状把握・原因解明・将来予測
治療方法・新材料開発・新技術開発

材料研究室での取り組み例

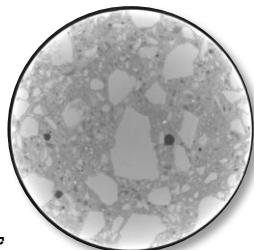
コンクリートのひび割れをシミュレーションする(寿命予測)



X線CTスキャナによるコンクリート内部のひび割れ可視化
(現状把握)



熊本大学との共同研究



Message

社会基盤デザインコースでは、地球そのものを研究対象とし、人々を自然災害から守り、快適な暮らしを築くために必要な研究を行っています。



富山 潤
与勝高校 / 琉球大学卒

将来性と主な職業

技術系公務員, 建設コンサルタント, 総合建設業などの技術者および大学, 研究所などの研究者